

太田順三教授 履歴・業績

太田 順三 教授 履歴・業績

1942（昭和17）年8月 兵庫県城崎郡日高町（現豊岡市）宵田にて造酒家（竹正宗）の太田完，与寿の3男として誕生。兄嘉信早逝のため次男として育つ。

履 歴

〔学歴〕

1958年3月 同県城崎郡日高町立日高小学校を経て，同日中学校卒業
 1958年4月 兵庫県立豊岡高等学校に入学
 1961年3月 同校を卒業
 1962年4月 早稲田大学第二文学部史学専攻に入学
 1964年4月 同第一文学部史学科国史学専攻に編入学
 1966年3月 同第一文学部史学科国史学専攻を卒業 卒業論文『丹波国大山荘地頭中沢氏の研究』（主査：西岡虎之助教授），文学士
 1966年4月 早稲田大学大学院文学研究科史学専攻修士課程入学
 1969年10月 同修士課程卒業 修士論文『中世末期の「村」—播磨国鶴荘の研究—』（主査：竹内理三教授），文学修士
 1971年4月 早稲田大学大学院文学研究科博士課程に進学，のち同課程修了

〔職歴〕

1969年4月 歴史学研究会書記（1971年7月まで）
 1975年4月 神奈川大学国際学部非常勤講師（1978年3月まで）
 1976年4月 専修大学文学部（2部）非常勤講師兼任（1978年3月まで）
 1976年4月 相模女子大学国文学科非常勤講師兼任（1978年3月まで）
 1978年4月 佐賀大学教養部助教授に任官
 1982年9月 国内研究員

- 1984年3月 佐賀大学助教授を退官
1984年4月1日 専修大学文学部助教授に任用
1985年4月1日 専修大学文学部教授に昇任
1992年4月1日 国内研究員
2005年4月1日 大学院社会知性開発研究センター兼担教員
2006年4月1日 社会知性開発研究センター研究員
2007年4月1日 社会知性開発研究センター研究員
2013（平成25）年3月 専修大学定年退職

研究業績

〔共編著〕

『播磨国鶴荘資料（阿部猛と共編著）』巻末に文献解題および鶴荘の景観・同荘の歴史などの解説を付す。八木書店，1970年9月

〔著作〕

- 『莊園絵図の基礎的研究』（莊園研究会編）「鎌倉期の堺相論と絵図」三一書房，1973年8月
『続莊園制と武家社会』「西大寺領域支配の確立と絵図」（竹内理三博士古稀記念論集）吉川弘文館，1978年1月
『民衆史の課題と方向』「一向一揆と寺内町の解体」（民衆史研究会十五周年記念論集）三一書房，1978年10月
『九州中世社会の研究』「大内氏の水上山二月会神事と徳政」（渡辺澄夫先生古稀記念論集）第一法規出版，1981年11月
『莊園絵図研究』（竹内理三編）「河口干潟における中世的開発の展開と絵図」東京堂出版，1982年9月
『肥前史研究』（三好不二雄先生傘寿記念論集）「肥前国一宮河上社をめぐる造営の変遷」河上社神殿造立棟札の墨書銘の研究，同記念誌刊行会，1985年4月
『民衆生活と信仰・思想』（民衆史研究会論集Ⅰ）「中世の民衆救済の諸相—橋勸

進・非人施行・綴法師」雄山閣，1985年12月

『日本古文書学論集』（日本古文書学会編）全13巻内，第8巻「室町時代の武家文書」に旧稿補訂の上，「將軍義教と御前落居奉書の成立」を載録，吉川弘文館，1986年12月

『人物でたどる日本荘園史』（阿部猛・佐藤和彦編）「逃散の作法—法隆寺領播磨国鶴荘」東京堂出版，1990年1月

『絵別荘園絵図』（荘園絵図研究会編）「東郷荘下地中分絵図」東京堂出版，1991年3月

『日本荘園史講座』（永原慶二他編）近畿地方の荘園3「但馬国」吉川弘文館，2002年12月

『日本中世の政治と社会』（中野栄夫編）「長祿期の「当知行」「不知行」」吉川弘文館，2003年10月

『悪党と内乱』（悪党研究会編）「得宗被官安東蓮聖再考」岩田書店，2005年6月

〔単著〕

『歴史の足音』（改訂）玄工房，2003年11月

〔学術論文〕

「中世後期荘園制下村落の動向」（播磨国鶴荘の研究）民衆史研究会・民衆史研究5，1967年5月

「中世後期における点定と散田作人層—領主権の一例」民衆史研究会・民衆史研究6，1968年5月

「室町時代の法隆寺寺院組織の—様相—寺務方の機構」早稲田大学大学院研究科『研究紀要』15，1969年3月

「播磨における正長・永享の国一揆について」（文明十二年の国一揆との対比）民衆史研究会・民衆史研究7，1969年5月

「安保直実について」（太平記の英雄「虚像」）民衆史研究会・民衆史研究8，1970年5月

「〔嘉吉の乱〕と山名持豊の播磨進駐」民衆史研究会・民衆史研究9，1971年5月

月

「鎌倉期の荘園と勸農」(1)(2) 歴史学研究会・歴史学研究376, 377, 1971年

10月・11月

「酒井左衛門尉孝信と遺領相論」民衆史研究会・民衆史研究10, 1972年5月

「中世末期の村落生活—播磨国鶴荘における素描」名著出版, 歴史手帳2-10, 1974年10月

「中世後期の幕府権力の特質と人民闘争—義教政権をめぐる」歴史学研究会, 歴史学研究別冊1973年度大会特集1973年10月

「秀吉の身分統制と都市・町場支配」兵庫県史編集専門委員会, 兵庫県の歴史12, 1974年11月

「將軍義教と御前落居奉書(ごぜんらっきょほうしよ)の成立」早稲田大学史学会, 史観91, 1975年3月

※のち補訂をえて『日本古文書学論集』に再録

「観応擾乱期の但馬守護—今川頼貞をめぐる」相模女子大学国文学会, 相模国文5, 1978年2月

「永享の山門騒乱とその背景」佐賀大学教養部, 研究紀要11, 1979年3月

「戦国大名龍造寺氏の研究の課題」九州歴史科学協議会会報4, 1979年9月

「荘園と「地域的一揆」体制」佐賀大学教養部, 研究紀要12, 1980年3月

「但馬の守護と文永・弘安の役」東京堂出版, 鎌倉遺文月報18, 1980年5月

「戦国大名大内氏の寺社徳政」佐賀大学教養部, 研究紀要13, 1981年3月

「中世末期・西播磨における「村」の争論と裁判」名著出版, 歴史手帳8-9, 1981年8月

「徳政と担保保証—質券地・逃質・返状」日本古文書学会, 古文書研究17, 18合併号, 1981年12月

「守護山名氏の領国支配の進展」雄山閣, 歴史公論81, 1982年8月

「北部九州の戦国大名領下の村落とその支配—大内・龍造寺氏の権力構造論序説」佐賀大学教養部, 研究紀要15, 1983年3月

「「地域的一揆」体制の諸相」雄山閣, 歴史公論115, 1985年6月

- 「久米邦武と『久米邦武博士回顧録』」佐賀県文化課，新郷土439，1985年10月
- 「『肥前一宮』千栗八幡宮の歴史的変遷」神奈川県立金沢文庫，金沢文庫研究179，180合併号，1990年10月
- 「中世の橋をめぐる習俗について」専修大学社会科学年報25，1991年3月
- 「中世禅院の創設をめぐる一但馬国養父郡定教山祐徳禅寺の場合」専修史学29，1998年3月
- 「但馬国太田文とその歴史」但馬史研究会，但馬史研究26，2003年3月
- 「足利義詮，その時代と花押の変遷」（上）専修人文論集72，2003年3月
- 「中世の「地域的一揆」の形成論再考—稲本紀昭氏への「コミュニティー」に対する覚書」専修人文論集82，2008年3月
- 「秀吉の人掃令，喧嘩停止令」専修人文論集86，2010年3月

〔資料集〕（共編修，分担執筆）

- 『荘園史資料』（西岡虎之助編）農民生活の実態・農民の戦争の項目担当，校倉書房，1969年4月
- 『日本荘園絵図集成』（上）（西岡虎之助編）西大寺・秋篠寺相論図（2図）・鶴荘実検絵図（2図）以下絵図の4点舗の解説を担当，東京堂出版，1976年4月
- 『日本荘園絵図集成』（下）（西岡虎之助編）播磨国揖保川用水指図・但馬国出石神社領田図・弘山荘実検絵図の点舗を新出の荘園絵図として紹介し，解説を担当，東京堂出版，1977年5月
- 『写真で綴る楞嚴禅寺（りょうごんぜんじ）』（山本茂信編）楞嚴寺文化財保存会記念刊行会，北星社，1978年2月
- 楞嚴禅寺は山陰屈指の名刹。延文5年南溟禅師の開創以来，皇室・室町歴代將軍の尊崇。守護山名氏の外護で数多くの貴重な古文書を伝存。頂相・消息装飾経などもある。これら寺宝類の全容を写真掲載の上紹介。古文書の解説を付して印行。各文書の解説，巻末に楞嚴禅寺の歴史などを執筆
- 『佛頂山楞嚴禅寺随想』（山本茂信編）兵庫県美方郡浜坂町（現温泉市）楞嚴禅寺文化財保存会，北星社，1981年1月

永島福太郎，阿部隆一ら34名の随筆集。改めて楞嚴寺の裏面史に言及。「享保楞嚴寺書上，当時所蔵37通之外」とある明治20（1887年）9月，当直執事平田全瑛の記録になる『山名家判物扣并鐘銘扣』が新出古文書写として新たに判明。それらを翻刻・解題を加え紹介。附録に同寺法会（楞嚴会など）を知る「年中行事」を記した『佛頂山年中須知』（全）を掲載

『日高町史資料編』（古文書編の編修責任と但馬太田文を除く古文書編の解説・解説を担当）一兵庫県城崎郡日高町（現豊岡市日高町），1980年3月
町会議員に資料集の必要を説得のため蒐集していた関係史料をまとめ『但馬日高の中世史料集』（謄写本，日高町教育委員会刊，非売品1975年）を事前に別途出版し準備。

町民の理解を得るよう配慮してほしいとの強い要望を受け，写真版の掲載・釈文・読み下し語注・解釈などを加える方法を取ることになった。169通に及ぶ古文書の採録，47頁にわたる全体の概説を加える。また中野栄夫の手になる「但馬太田文」7本の写本テキストを対校（表記の差異の厳密な補註）に，伝存過程を明らかにした解説が加わる。

『但馬の文化財（仏画・文書編）』（文書編 編修）各文書の解説と解説 但馬文化協会 谷本印刷1982年3月

『但馬五郡姓名録』翻刻（3分冊）明治期の但馬地主の納税額を氏姓名簿。「解題編」の一部執筆担当 姓名録複刊会（代表山本茂信）刊，1982年9月

・佐賀県関係

『竹崎観世音寺修正会鬼祭』佐賀県藤津郡太良町教育委員会，1980年3月
補陀洛院観世音寺の歴史の執筆。また「竹崎山記録」と竹崎山院主職平井坊宛など「古證文之写」の古文書写などを紹介。

『実相院文書調査報告書』佐賀県立図書館，1985年4月

肥前一宮神宮寺実相院所蔵の文書の悉皆調査の報告書。文化庁（当時）の補助を得て佐賀県立図書館が昭和58年度文化財保存事業として進められた。三好不二雄を主任調査員とし，中世史料を太田順三，近世史料を池田史郎，近世史料を森周蔵各調査員が担当。（史料は最終的に2,657点に及んだ）「実相院文

「書中世史料について」を執筆

『実相院文書調査目録』佐賀県立図書館，1985年4月

佐賀県史料集成など既刊史料と対照の結果，中世の新出史料34点，近世では1,888点，近代のそれは358点に及ぶ

『図録肥前の中世美術』巻頭総論「肥前の中世文化の背景」執筆，佐賀県立博物館，1985年2月

〔評伝，回想，短評〕

「中世末期の犯罪の抽出」セキュリティワールド『セキュリティ』12，1970年1月

「民衆史研究の起点—もう一つの西岡虎之助論」民衆史研究会・民衆史研究15，1977年5月

「史料蒐集・歴史編纂の思い（成富茂安の書状をめぐって）」佐賀大学教養部「アレティア」5，1984年4月

「世に魁けし我等が大学」展を観て—専修大学と青春群像の一駒」ニュース専修199，1986年10月

「奥田柳蔵小伝」『味道館主梅園 森周一郎先生とその門人』山本茂信編，1987年3月

「『暗い谷間』の青春群像」達徳会東京支部「和魂」2，1996年9月

「大山寺の一通の文書をめぐって」米子市史編纂事務局「米子市史だより」，2000年3月

「秋山忠治小伝」秋山忠治著『浅倉村史』所収，2000年6月

「竹内理三先生小伝」竹塾会編『竹内理三先生の思い出』1998年3月

「恩師竹内先生の手紙と言葉」『竹内理三—人と学問』吉川弘文館，1998年3月

「長岡篤先輩を偲ぶ」『花の下にて—長岡篤遺稿・追悼文集』東京堂出版，2001年2月

「但馬国雀岐庄具書案物語—石井進さんの追悼」『であいの風景』石井進先生を偲ぶ会編，新人物往来社，2002年3月

〔著作集編・編修・解題〕

『西岡虎之助 著作集（全4巻）』（鹿野政直・奥野中彦・佐藤和彦・三木靖らと編修）第1巻9章の解題・第2巻「殺生禁断の思想」などの解題を担当

※同著作集の刊行は三一書房，1982年11月～1987年11月

〔書評・研究動向〕

大山喬平著『日本中世農村史の研究』（岩波書店）書評，日本歴史学会編集，日本歴史378，吉川弘文館1979年11月

「佐賀県の研究動向」地方史研究協議会編『日本史文献年鑑』，柏書房，1981年6月

網野善彦著『中世東寺と東寺領荘園』（東京大学出版会）書評，歴史科学協議会歴史評論388，校倉書房，1982年8月

今谷明・高橋康夫 共編『室町幕府文書集成 奉行人奉書編』（上・下），思文閣出版『週刊読書人』1987年2月9日号

〔教科書・教育参考書〕

家永三郎／稲垣泰彦 編修『資料日本史』三省堂，1968年4月

三省堂版高校教科書『日本史』準拠（中世関係を佐藤和彦と共同担当執筆）

『日本史概論』同成社，1981年4月，中世後期の分担執筆（武光誠（古代）・中野榮夫（中世前期）・沼田哲（近世）・上山和雄（近代））

〔辞典類〕（その他）

角川版『改訂日本史辞典』（宇野俊一・竹内理三 編修）角川書店，1970年4月，口絵グラビア，巻末附録図，小項目など 青木美智男・荒木敏夫らと担当

『日本史用語大事典』（宮田登・三上昭美・村上直らと編修委員）柏書房，1978年8月，中世項目の編集・執筆担当

※のち，B6版サイズで改訂を加え『日本史用語事典』に

『古文書用語用字大辞典』（全2巻）（飯倉晴武・高橋正彦らと共同編集）柏書房，1980年8月，上巻の中世用語の執筆のほか 主に下巻の文書様式の解説に当る

- 『戦国大名家臣団事典』（全2巻）山本大・小和田哲男編 新人物往来社，1981年8月，下巻の西国編に山名氏の家臣団構成と家臣団人名辞典，赤松氏の家臣団構成と家臣団人名辞典を執筆
- 『角川日本地名大辞典41，佐賀県』（杉谷昭・日野尚志と共に代表編集委員）角川文化財団，1982年3月，主に荘園関係の立稿と中世の歴史地名を担当
- 『佐賀県大辞典』佐賀新聞社，1982年5月，古代・中世の荘園，年表などを担当
- 『兵庫県大辞典』神戸新聞社，1983年1月，山名氏関係14項目を担当執筆
- 『現代日本朝日人物事典』朝日新聞社，1990年12月，松本新八郎の項目執筆
- 『古文書用語事典』（飯倉晴武と責任編集），1991年6月
- 『日本史文献事典』（黒田日出男・加藤友康・加藤陽子編）弘文堂，2003年12月
- 高坂好（1911～71）同著『中世播磨と赤松氏』（臨川書店）の解説と解題
- 「特輯（日本荘園の研究）によせて」歴史学研究，戦前期復刻月報9号再録，歴史学研究会創立80周年記念『証言戦後歴史学への道』青木書店，2012年12月